

「統計ビジネスレジスターに関する国際ガイドライン」（2015年6月CES総会承認）の概要

○策定の背景等

- ・統計ビジネスレジスター（SBR）の構築・メンテナンスの実践的なガイダンス、勧告の提供を通じて各国のビジネスレジスター業務をサポートするため、国際タスクフォースが策定作業を実施。

＜策定までの経緯＞

2011年11月：欧州統計家会議（CES）執行部が国際タスクフォースを立ち上げ、策定作業を開始。

2015年2月：ガイドライン案（draft）をCESメンバー国に提供の上、意見照会を実施

2015年6月：第63回CES総会において本ガイドラインを承認

○各章の概要

第1章 紹介

- ・ガイドライン案は12章、5付録で構成。

第2章 SBRの役割

- ・SBRの主要な役割は、行政記録を主とした様々な収録情報を活用した統計単位のメンテナンスであり、これにより常に更新されるレジスターとなる。
- ・レジスター動態（register snapshots）と凍結フレーム（Frozen frames）からの統計フレームの提供も、主要な役割のひとつ。
- ・統計結果の蓄積、報告者負担管理、レジスター統計の作成等、SBRの新たな役割にも言及。

第3章 SBRのカバレッジ

- ・2008年SNAにおいて定義された様々な経済に関するセクター、ユニットの概念を踏まえたSBRのカバレッジについて記述。
- ・SBRは原則として国民経済計算の推計に必要な全ての単位を収録しなければならないが、様々な制約によって実現が難しいという点について記述。
- ・市場生産と非市場生産、観察される／されない経済活動、非公式セクターや違法セクターなどの関連する事項、SBRとして最低限把握すべきカバレッジに係る勧告を記載。

第4章 SBRにおける単位 及び 第5章 単位の属性

- ・様々な統計単位の概要を説明するとともに、SBRに収録すべき情報について記述。
- ・議論されている主な統計単位は「企業グループ（the enterprise group）」、「企業（the enterprise）」、「事業所（the establishment）」、「KAU（the kind-of-activity unit）」及び「LU（local unit）」。
- ・統計単位を説明する上で重要な構成要素である「regal and administrative units」、様々なタイプの単位とそれらの関係性の定義を示した単位モデル（the units model）についても記述。

第6章 SBRのデータ源

- ・SBRの構築及びメンテナンスに必要なデータ源について記述。多様な行政記録だけでなく、その他の情報源についても考慮。
- ・行政組織との協力体制、統計目的に行政記録を活用する際の課題、注意点などを記述。
- ・個々のデータに共通IDが未付与の場合のレコードの結合方法についても紹介（名称、所在地といった情報源のデータ結合への利用等。）。

第7章 SBRのメンテナンス

- ・SBRの更新とメンテナンスについて記述。ユーザ・統計調査スタッフのニーズに基づくSBRの更新と、メンテナンスにおいて考慮すべき事項について記述。
- ・企業の新設、属性の変更といった動態的な動き（demographic events）に関する継続的なルールとエラーへの対応について記述。

第8章 Survey Frame Methodology

- ・GSBPM（Generic Statistical Business Process Model）という名称の汎用統計ビジネス処理モデルや、統計調査ニーズに関連したSBRの業務について記述。
- ・多様な母集団コンセプトによりフレームデザインに関する議論が活発であり、標本重複誤差、欠落誤差とその修正方法やその他のフレームエラーについて記述。

第9章 公開（dissemination）

- ・SBRからの統計の作成について記述。SBRの標本カバレッジと適時性により、センサスやビジネスデモグラフィ統計の作成に利用。
- ・SBRからの統計の公開では各国で基準が異なる秘匿について考慮が必要。個票データを提供するには確実に法的根拠が必要。いくつかの国々では個票データを学術研究、若しくは個々の事業所情報の公表に利用しているが、ほとんどの国では行っていない。

第10章 品質（Quality）

- ・SBRの品質、特に統計フレームや標本抽出に利用されるカバレッジ、産業分類等の属性の正確性の観点で、企業統計の品質に大きな影響を与える。
- ・品質の定義・程度、品質評価方法、品質表示、品質改良ポリシーの基本原則について記述。

第11章 SBRの構築に関する重要事項（Key Considerations）

- ・特にSBR開発途上の国々に焦点を当てて、SBRの構築に際し考慮すべき様々な観点をカバー。
- ・企画（planning）、組織統治（governance and organizational）及びITの検討の3つに分類。
- ・法整備、予算、人材などを取り扱うとともにシステム構築、データベース管理、プログラミング、ソフトウェアツールといった事項を議論し、指針を提供。

第12章 将来的な業務と研究

- ・タスクフォースにより勧告された今後の業務や研究等について簡潔に記載。
- ・統計単位、行政記録の活用、新たなデータ源の探求に関する概念や説明、経済統計のバックボーンとしてのSBRの役割の強化、統計の現代化（modernization）の役割を含む。

その他の付録

- ・各国の事例や、主要項目の用語の定義等を解説した用語集（glossary）を記載。